

農薬に頼らない栽培へ

ネオニコフリー学習会

生協ネットワーク 21 連携開催



生協ネットワーク 21 加盟生協が連携して、2017 年に想いをつなぐリー学習会として始まったネオニコフリーの取り組みも 7 年目の取り組みとなりました。

ネオニコ系農薬は 1990 年代から使用が急増し、殺虫剤の主流となっていますが、ミツバチやトンボがいなくなっただけでなく、人体への被害も明らかになってきています。

国はみどりの食料システム戦略の中で 2050 年までにネオニコ系農薬を含む化学農薬の使用を半分にする目標を立てましたが、あと 20 年以上も使い続けて子どもたちは大丈夫?? 世界は禁止や規制の方向に動いているのに、日本はそれまで使い放題です...子どもや孫の世代が心配!!

どうしたらいいの? できるところから、できる人から始めませんか? まずは学んで、子どもたちを守るために私たちに何ができるのかを一緒に考えましょう!



虫害のリスクを考えるとなあ...

子どもたちの未来が心配何とかしたいなあ...



開催日 8月29日(木)

オンラインで開催!!

【第1部】10:00~12:00(組合員向け)※組合員以外の方もOK!

『食品に潜む農薬の安全性とリスク評価の仕組み

星 信彦さん

～水道水・養育行動・父性曝露・農薬再評価の問題点～』(神戸大学 大学院教授)



農薬は化学物質(環境ホルモン)です。星先生の研究では、これ以下なら異常が認められないと国が定めた量でも、ネオニコを投与されたマウスには行動異常が認められたそうです。さまざまな実験データから、ネオニコチノイドとはどういう性質を持っているのか、そして、現在の毒性試験の矛盾点も教えていただきます。

現在行われている「農薬再評価(登録農薬の安全性に関する審議)」のお話の他、最新の情報もお話いただく予定です。

【第2部】13:30~15:30(生産者向け)※生産者以外の方もOK!

『～生協あいコープみやぎの事例から学ぶ～

生協組合員と一緒に取り組むネオニコフリー!』



報告① あいコープみやぎ 高橋翔さん

報告② りんご農家 天童果実同志会さん

報告③ 米農家 大郷みどり会さん

報告④ あいコープみやぎ組合員 交流担当理事



あいコープが産直産地の生産者とともに取り組んできたネオニコチノイド系農薬の削減。組合員の抱える農薬への不安の声を生産者が真正面から受け止め、今なお続くそれぞれの取り組みについて報告します。東日本大震災以降に始まった、宮城県内の産直米産地のネオニコ削減。殺虫剤の削減が難しいと言われている果実では、りんご産地の挑戦を組合員が園地のオーナーとなり支えるなど、組合員と産地が二人三脚で削減の歩を進めてきました。生協と生産者の産直のつながりがあったからこそ実現できた、ネオニコ不使用の輪をみなさんの力でより大きなものにしていきましょう。

申し込み

QRコード、または生協 HP からお申し込み下さい!
第1部、第2部、どちらかの申し込みも可能です。



参加費無料

【お問い合わせ】自然派くらぶ生協 042-644-1811(月~金 8:30~18:00)

■定員:各回 500 名 ■参加費:無料 ■オンライン開催(zoom) ■申込締切: 8月16日(金)

■主催:生協ネットワーク 21 ※一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト 2023 年度助成にて開催しています

生協 ネットワーク 21

友好生協のネットワークと一緒にネオニコフリー&有機農業をひろげましょう♪ 生協ネットワーク 21 加盟生協

あいコープみやぎ あいコープふくしま よつ葉生協なのはな生協 自然派くらぶ生協 やまゆり生協
常総生協 ナチュラルコープヨコハマ 生協連合会アイチョイス 生協連合会コープ自然派事業連合